

# 危機管理マニュアル



※ 生命の安全最優先で緊急対応をする。

従って、状況に併せて臨機応変に対応することも生じる。

**下関市立内日小学校**



④ 対象

<p>1 学校危機の未然防止（平常時）の対応と緊急時の初動・初期対応、中・長期対応</p> <p>2 防犯を含む生活安全</p> <p>(1) 不審者侵入防止対策、通学路の安全対策</p> <p>(2) 学校等における事件・事故防止</p> <p>転落、遊具、プール事故、落雷・突風、水難事故、薬品、熱中症、いじめ等</p> <p>3 交通安全</p> <p>4 災害安全</p> <p>・火災、地震、風水害、土砂災害等の被害防止対策</p>
---

⑤ 基本的対応

ア 未然防止(平常時)の対応

項目	具体的取り組み
安全教育の充実	<p><input type="checkbox"/> 「学校安全計画」（「生徒指導計画」、「学校保健年間指導計画」「食に関する指導計画」等）に基づく、計画的な安全学習、安全指導の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども110番の家や安全マップ作成や危険予測学習(KYT)等、安全教育の充実による「危険予測・回避能力」の育成</p> <p><input type="checkbox"/> 生徒指導、教育相談、進路指導の充実</p>
安全管理の徹底	<p><input type="checkbox"/> 緊急連絡体制（病院、保護者等）の整備と周知</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関等との連絡連携体制の確立</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的・日常的な安全点検実施（安全点検表の活用）</p> <p><input type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止、早期発見対策の確立</p> <p><input type="checkbox"/> 出欠、健康観察、保護者連携の確実な実施</p> <p><input type="checkbox"/> 施設管理や火気・薬品等の適正な取扱い</p> <p><input type="checkbox"/> 授業、学校行事等における安全確保</p> <p><input type="checkbox"/> 台風など自然災害等に関する速やかな情報収集</p> <p><input type="checkbox"/> 救急救命法（心肺蘇生法、AED等）の研修</p>
組織活動の推進	<p><input type="checkbox"/> 教職員の意識高揚と、危機管理体制の確立</p> <p><input type="checkbox"/> 学校安全委員会（学校保健安全委員会）の開催</p> <p><input type="checkbox"/> 兆候事案等を共有し、事件等を抑止する体制整備</p> <p><input type="checkbox"/> 安心メール加入率を増やす等、緊急連絡体制整備など、保護者、関係機関・団体等との連携</p>

イ 緊急時の初動・初期対応

項 目	具 体 的 取 組
発生源への緊急対応	<input type="checkbox"/> 事件・事故の発生原因の早期除去 〔不審者の侵入阻止、火災の消火、施設等の不備の応急修理など〕
指揮統括 〔管理職〕	<input type="checkbox"/> 事件・事故概要の迅速な把握〔管理職〕 <input type="checkbox"/> 児童等や教職員の安全確認 <input type="checkbox"/> 情報収集（情報の一元化）と共有 <input type="checkbox"/> 危機対応組織の立ち上げ <input type="checkbox"/> 教育委員会、警察、関係機関等への緊急通報、支援要請 <input type="checkbox"/> 的確な意志決定と指示 <input type="checkbox"/> 報道対応（窓口の一本化）
○危機対応 〔危機管理チーム〕  <div data-bbox="185 1043 474 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           管理職            教務主任            生徒指導主任            保健主任            安全主任         </div>	<input type="checkbox"/> 教職員への緊急連絡と招集 <input type="checkbox"/> 児童等の避難誘導と安全確保 ・児童等を発生源から遠ざけ、不安を軽減 ・安全確認、点呼 <input type="checkbox"/> 重要物品の搬出 <input type="checkbox"/> 警察官、救急隊員等を現場に誘導 <input type="checkbox"/> 保護者への緊急連絡〈保護者担当〉 <input type="checkbox"/> 情報収集・整理、コメント作成〈報道担当〉学年主任など関係者 <input type="checkbox"/> 時系列での記録〈記録担当〉
○ケア対応 〔心のケアチーム〕  <div data-bbox="185 1641 451 1877" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           教務主任            学年主任            担任            教育相談担当            等         </div>	<input type="checkbox"/> 負傷者、ハイリスク児童等の迅速な把握 <input type="checkbox"/> 応急手当〔心肺蘇生法、AED〕 <input type="checkbox"/> 病院への搬送とアフターケア <input type="checkbox"/> 児童等の不安の軽減 <input type="checkbox"/> ハイリスク児童等、保護者の把握 <input type="checkbox"/> ケア計画の作成 <input type="checkbox"/> 専門家と連携した教育相談・カウンセリング等

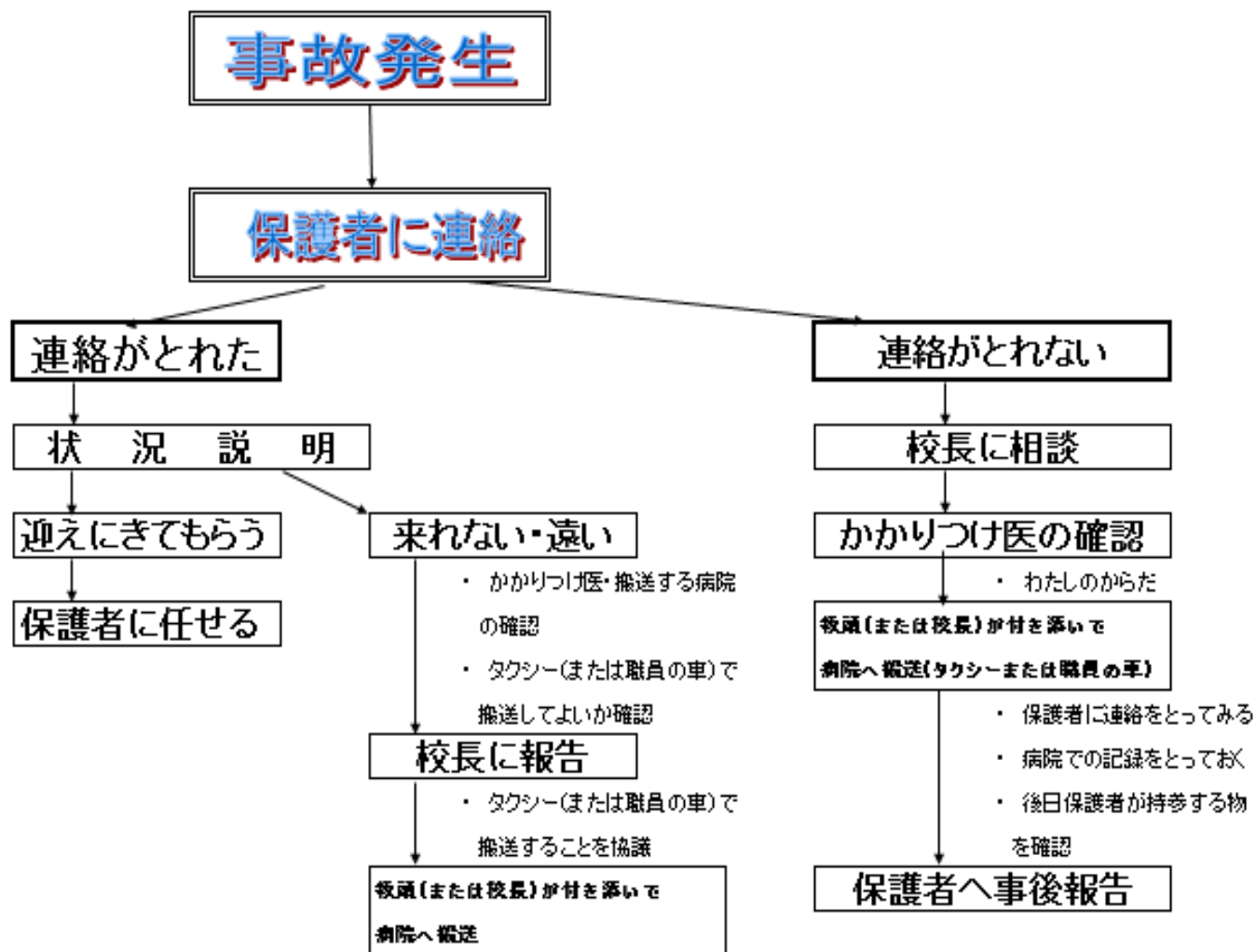
\* 緊急事案発生時には、危機管理マニュアルに想定していない状況も発生することがあるため、正確な情報収集に基づき、迅速かつ的確に判断し、トップダウンを基本に、全教職員が協働して危機に立ち向かう。

ウ 緊急時の中・長期対応

項 目	具 体 的 取 組
○指揮統括 [管理職]	<input type="checkbox"/> 現状把握と分析 <input type="checkbox"/> 教育委員会、関係機関等と連携 <input type="checkbox"/> 各担当者に状況に応じた適切な指示
	<p>●再発防止策の確立</p> <input type="checkbox"/> 事件・事故の発生要因把握、問題点等の整理 <input type="checkbox"/> 安全性の評価と改善 <input type="checkbox"/> 安全対策の確立 [安全パトロール、施設設備等の改善、安全指導など安全管理、安全教育等の見直し] <input type="checkbox"/> 保護者、関係機関、地域等と連携強化 <input type="checkbox"/> 「危機管理マニュアル」「学校安全計画」等の見直し改善
○ケア対応 [心のケアチーム] 教務主任 担任 教育相談担当 等	<p>●学校再開の準備</p> <input type="checkbox"/> 児童等の現状把握 <input type="checkbox"/> 保護者、地域等の願いや考えなどの把握 <input type="checkbox"/> 実態に応じた教育計画の作成 <input type="checkbox"/> 授業等に必要な場所等の確保、指導体制整備
	<input type="checkbox"/> 傷病者の状況経過把握 <input type="checkbox"/> 学校医、医療機関等と連携 <input type="checkbox"/> 心のケアの継続 <input type="checkbox"/> 災害共済給付等の事務

\* 事件・事故、災害が収束すると、直ちに対応状況を総括する会議を開催し、問題点を明確に整理し、再発防止に向け改善点を明らかにし、再発防止策を講じる。同時に、危機管理マニュアルと学校安全計画を見直し、改善を図る。

# 緊急時の搬送対応について



☆ 小月タクシー  
フリーダイヤル 0120 82-1160  
菊川営業所

☆ 川棚温泉タクシー  
フリーダイヤル 0120 39-8994  
豊浦川棚6337-2

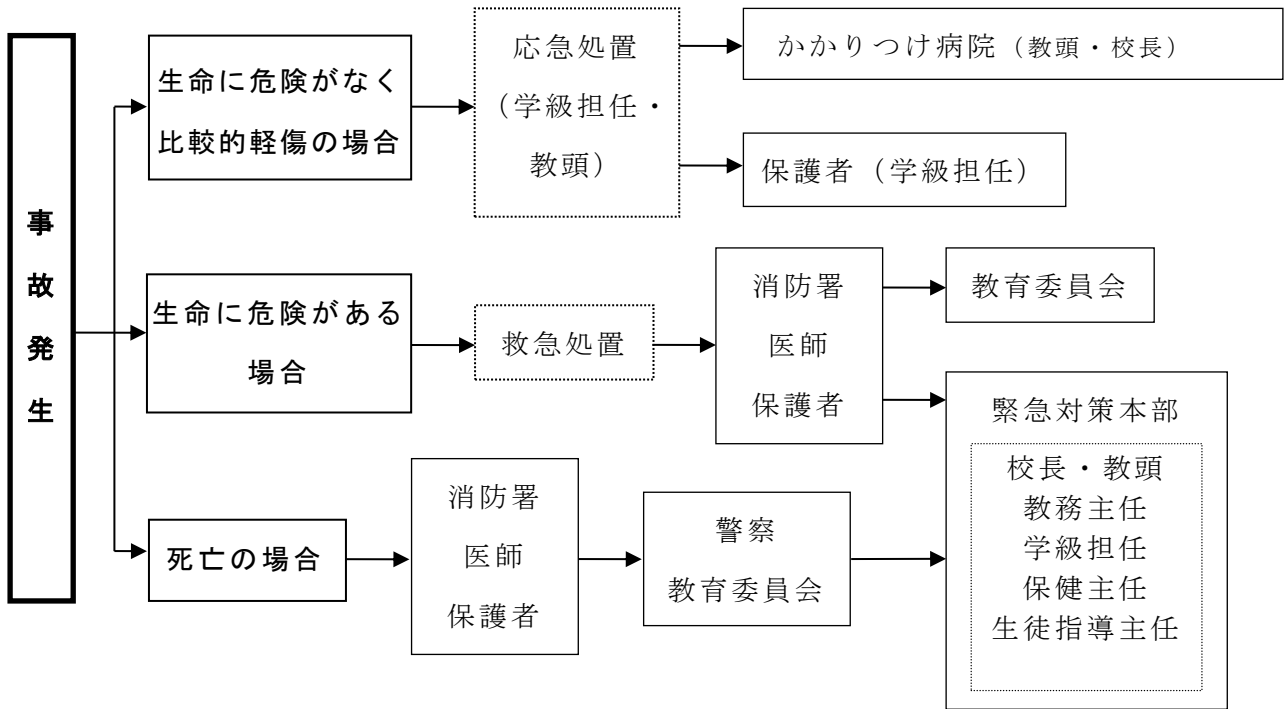
☆ 下関山電タクシー  
(083) 234-0124  
椋野町3-6-2

※ タクシー代金は立て替えをする。

※ 日本スポーツ振興センターへ書類を提出する。

→ あとでPTAの保健安全費から受け取る。

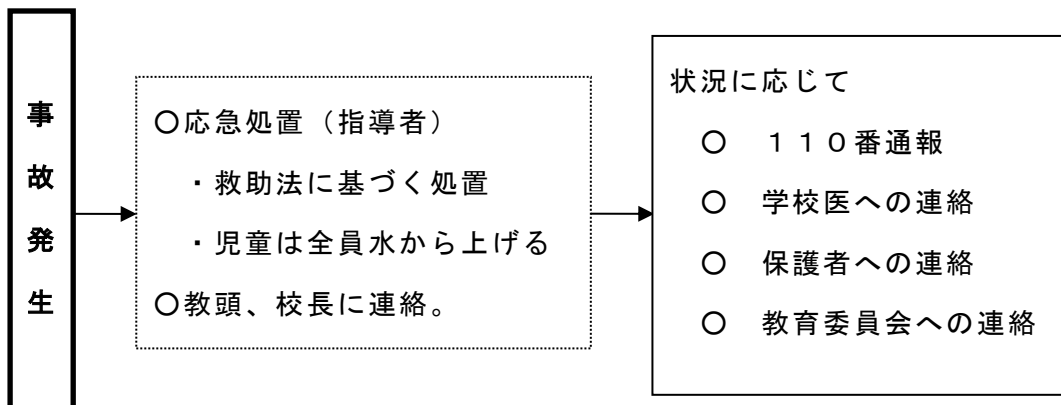
(1) 学校生活・体育科・理科・家庭科等での事故



(2) プールでの事故

※指導者の1名が必ず携帯電話を用意する

※緊急事態の場合は、現任者の判断で110番通報を行う。



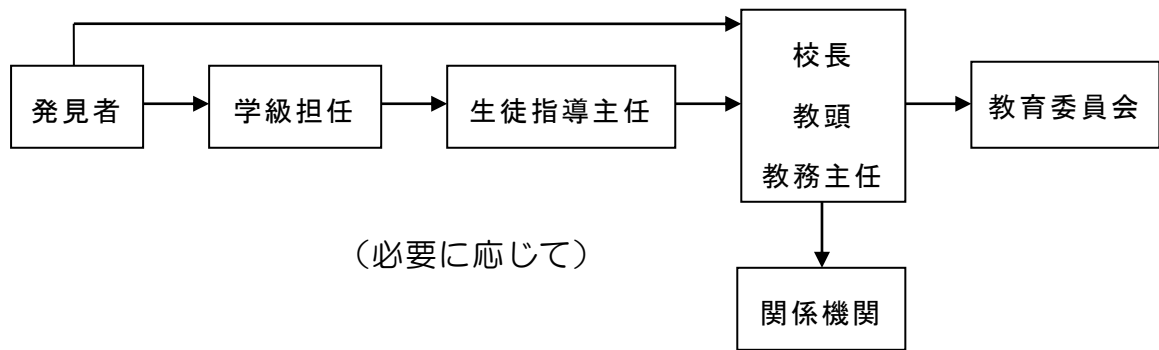
### (3) 生徒指導～問題発生時の対応について

#### 問題発生時の対応について

##### ① 発見者による処置

問題行動等を発見した場合は、発見者は該当児童に対して適切な指導や応急処置を行うとともに、すみやかに次の経路で関係者に連絡すること。

(緊急を要する場合)



##### ② 学校による対応

###### ○問題行動に走った児童への対応

- ・保護者との緊急な連携のもとに、教育的見地に立って実情を調査し、原因の究明に努める。
- ・校内生徒指導部会等において、該当児童の実情に即した指導方針を立て、全職員の共通理解のもとに、きめ細かな指導を行う。

###### ○一般児童に対する指導

- ・問題行動が他の児童に影響を及ぼすと判断された場合は、適切な時期に適切な指導を行う。

###### ○外部に対する処置

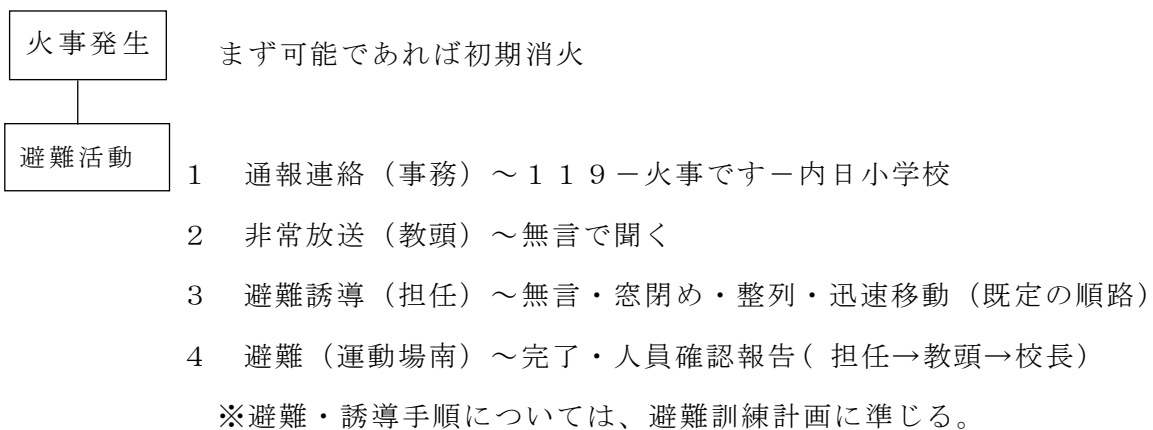
- ・教育委員会とは緊密な連絡をとり、協力や指示を得て処理する。
- ・必要に応じて、関係諸学校、補導センター、児童相談所、警察署、福祉事務所等と連絡をとりながら適切な指導を行う。



#### (4) 火事・地震・津波（まず児童の安全確保を）

本校消防計画に詳細を記載

- ・ 総則
- ・ 予防管理対策
- ・ 防火管理組織
- ・ 震災対策
- ・ 避難及び消火
- ・ 教育訓練



#### 消火栓の扱いについて

- 火災を発見したら
  - (1) 職員室に直ちに連絡する。
  - (2) 初期消火であれば、付近の消火器・消火栓で消火する。
  - (3) 火災を発見したら、直ちに119番通報及び初期消火に努める。

#### 消火器の使い方

- ① 消火器を取り出す。（金具止め具をはずす。）
- ② 火元より3～6mの位置まで近付く。
- ③ 消火器を垂直に置き、安全ピンを抜き取る。
- ④ ホース先を火元に向けグリップを強くにぎる。  
(にぎりきれないときは、消火器を垂直に置き、ノブを拳でたたく。)

#### 消火栓の使い方

- ① 非常ボタンを指先で強く押し込む。
- ② 赤いランプが点灯する。後点滅をはじめる。（ポンプ作動開始）
- ③ 非常ボタンを元に引き戻す。
- ④ 一人がホースの先を持って火元に構える。二人で確認しあい他方がバルブをゆるめ、放水を始める。水圧が強いと放水銃に振られることがある。
- ⑤ 消火が完了したら、火災受話器の「火災復旧」を定位置にもどし、機械室のポンプ停止ボタンを押す。

(5) 食中毒 (疑い)

(疑い) 発生

顛末を記録

状況把握 (担任→教頭→校長)

学年毎の患者数の正確な把握  
(症状別～腹痛・下痢・嘔吐・発熱等～欠席者数・出席者数)  
患者の経過状況の把握  
学校医への報告

教育委員会への報告  
学校医への報告

患者数・症状等について。特に数値は正確であること。  
指示を受ける。  
(臨時健康診断・出席停止・臨時休業・給食停止・学校行事の変更  
又は中止)  
(→保健所)

保護者への状況説明 (校長・教頭)

事故の発生と経緯・対応の状況等を文書あるいは臨時総会で

学校薬剤師への連絡 (教頭)

指示を受ける。

給食協会への報告 (給食担当)

\* 給食物資等の取り扱いに要因がある場合